令和４年度事業報告並びに収支決算承認について

令和４年度　事業報告

は　じ　め　に

令和４年の一番茶萌芽日は、１ 月から３月上旬まで平均気温が平年と比べ低く推移したことから、平年より２日遅い（前年比４日遅い）４月６日となりました。その後、４月中旬から下旬にかけて高温が続き、新芽の生育は順調となりましたが、全農京都茶市場の初取引は前年より４日遅い、４月２３日となりました。

一方、４月中下旬の高温による急速な生育により品質低下が懸念されましたが、早期摘採、早期遮光により、総じて良質な茶が出品されました。また、相場展開としては、内質重視での選択買い傾向が強く、上下格差は大きくなりましたが、総平均取引単価は前年比１１３％と需要回復傾向の取引となりました。

京都の茶生産者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながらの厳しい生産環境が続く中でありましたが、「第７４回関西茶業振興大会滋賀県大会」において、玉露、てん茶部門では農林水産大臣賞と産地賞を獲得され、さらに宇治市で開催されました「第７６回全国お茶まつり京都大会」において、玉露部門では農林水産大臣賞、かぶせ茶、てん茶部門では農林水産大臣賞と産地賞を獲得されるなど全国トップレベルの高品質茶生産を堅持されており、大変心強く思っているところです。また、１１月１９日、２０日にお茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」等で開催しました全国お茶まつり魅力発信イベントでは、両日で２万人の方々に宇治茶の魅力を満喫いただきました。

また、京都の流通業者の皆様には、コロナ禍ではありましたが、常に京都府産茶の購入・販売を第一に取組み、宇治茶ブランドの維持・発展に貢献いただいたことにつきまして、心より感謝申し上げます。

こうした中、茶業会議所では新型コロナウイルスの感染状況に応じた対策を図りながら、恒例の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は有料による定員制の導入、大型ショッピングモールにおける体験ワークショップの実施やオンラインによる『「宇治茶」まつりふれあいイベント』の開催に加え、全国お茶まつり魅力発信イベントを通じて、多くの消費者の皆様に「宇治茶の魅力」を発信してきたところです。さらには「プレミアム宇治茶認証制度」に基づく「プレミアム手摘み玉露」、「プレミアム玉露」、「プレミアム煎茶」を認証し、ブランド価値を高める取組みを進めてきたところです。

令和５年度は、新型コロナウイルスへの対応が変化する中、国内の消費者はもとより、戻りつつある訪日外国人観光客に対しても宇治茶の啓発活動を行うとともに全国・関西茶品評会への多数の優秀茶の出品により上位入賞を目指すために、関係者一同、全力を挙げてウィズコロナ時代に対応した取組みを進めます。

また、生産面では、宇治茶ブランドに相応しい清浄・高品質茶生産を一層推進するとともに、プレミアム宇治茶認証制度による良質宇治茶の普及や「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」で開発した『瓶入り宇治茶ドリンク「京都宇治玉露　玉兎」』のより一層の販路拡大の充実について京都府等の関係機関と引き続き連携協力してまいります。さらには、京

都府等の関係機関と連携協力してテアニン、ポリアミンなど「宇治茶」の持つ機能性成分の研究を一層進め、多くの消費者の皆様に、宇治茶の美味しさ、素晴らしさを提供することでブランド力を高めてまいりたいと考えております。

令和４年産茶の生産並びに流通・販売概況

１　令和４年の気象推移と府内産茶の生産・取引状況

（情報提供：全国農業協同組合連合会京都府本部農畜産部茶業市場課）

⑴　令和４年は、平均気温が平年と比べ１月から３月上旬までは低く推移したことから、一番茶萌芽日は平年より２日遅い４月６日となりました。萌芽日以降の４月中旬から下旬にかけて高温が続き、新芽の生育は順調となりましたが、全農京都茶市場の初取引は前年より４日遅い４月２３日となりました。初取引には昨年に比べて約２倍の１，３９５kgが出品され、平均単価は１０，３６６円と昨年を８２１円下回りましたが、１万円の大台での取引スタートとなりました。

一方、４月中下旬の高温により、摘採遅れや内質の淡泊さが懸念されましたが、５月上旬からの夜温の低下や早期摘採、早期遮光の実施により、総じて良質な茶が出品されました。

また、相場展開は、内質重視での選択買い傾向が強く、上下格差は大きくなりました。

特に覆い下茶において、遮光開始時期が遅れた茶は厳しい評価となりました。しかしながら総平均取引単価は前年比１１３％と需要回復傾向の取引となりました。

⑵　一番茶の茶種別流通・販売状況

ア　煎茶：

摘採遅れを懸念しましたが、早期の始動によりミル芽摘採された茶が多く上場されていました。外観が冴えて濃厚な味わい・宇治茶らしい香気を持ち合わせた良質茶は高値で取引されました。一方で、滋味に淡泊さを感じる茶や水色に赤みをさす茶も多く上場されていました。

結果は前年比で、数量で１０７％、平均単価で１００％となりました。

イ　玉露：

手摘み玉露は、形状並びに内質の良い上級品が堅調な価格で取引され、最後まで上質な茶が出揃っていました。摘み遅れによる大型や内質低下を感じる茶は少なくなりました。

鋏摘み玉露についても、手摘み玉露同様に選択買いの傾向が強く、上下格差が大きくなっていました。下級品には覆い不足や摘み遅れを感じる茶がありました。

結果は前年比で、手摘み玉露は数量で９９％、平均単価で１１１％、鋏摘み玉露は数量で１００％、平均単価で１０７％となりました。

ウ　かぶせ茶：

全体的に形状の良い、覆い香味も兼ね備えた水色の良い良質茶が多く上場され安

定的に取引されました。一方で、覆い香味が薄く、水色に欠点を持つ茶や摘採遅れの茶については低い評価となりました。

結果は前年比で、数量で１１９％、平均単価で１００％となりました。

エ　てん茶：

宇治てん茶は、品質に上下格差はあったものの例年に比べて上質な茶が多く上場されていました。外観とから色の冴えがあることを前提に滋味と香気の濃い製品が堅調な価格での取引となりました。

初茶てん茶は、２年間の減産と全体的に上質な茶が出揃ったことにより堅調な価格で推移しました。特に宇治茶らしい外観とから色が冴え、滋味が濃厚な茶は高値で取引されました。

結果は前年比で、宇治てん茶では数量で９８％、平均単価で１１５％、初茶てん茶では数量で１１９％、平均単価で１０７％となりました。

なお、茶種全体では、茶市場での京都産の一番茶の取扱い数量は、７７５．５ｔ（前年比１０５％）、取扱金額で２６．２億円（前年比１１８％）、平均単価は３，３８１円/ｋｇ（前年比１１３％）となっています。

(3)　二番茶の茶種別流通・販売状況

ア　煎茶：

一番茶の価格を背景に堅調な価格での取引となりました。しかし、品質格差による選択買い傾向は強く、滋味の濃い製品は高値で取引された一方で、摘採遅れによる大型化や水色に赤みを感じる製品については、引き合いが弱くなりました。数量は、前年よりは増産しましたが、過去５ヵ年平均の９２ｔに対して約６２ｔと大きく減産となりました。

結果は前年比で、数量で１０２％、平均単価で１１３％となりました。

イ　かぶせ茶：

煎茶と同様に一番茶の価格を背景に堅調な価格での取引となりました。また、品質格差による選択買いの傾向は強かったものの、適期摘採による形状並びに色沢の良い上質な製品の割合が多くなりました。数量は、てん茶の取引が好調に推移したため、過去５ヵ年平均の２７ｔに対して約１７ｔと大きく減産となりました。

結果は前年比で、数量で７８％、平均単価で１０７％となりました。

ウ　てん茶：

初茶てん茶の取引状況を背景に終始堅調な価格での取引となりました。製品格差によりクラス分けが行われ、下級品の出回り量が少なく、引き合いは強くなりました。

クラス分けは、から色重視で良く染まった製品と染まりが悪い製品や病害虫の被害等により赤みを感じる製品で行われ、それぞれ高値、低値の取引となりました。数量は、過去５ヵ年平均の２１７ｔに対して約２２９ｔとなりました。

結果は前年対比で、数量で１３８％、平均単価で１０５％となりました。

⑷　秋番茶については、数量は１４３ｔ（前年１５３ｔ）で前年比７％減となり、平均単価は３７７円（前年３７６円）で前年並みとなりました。秋てん茶も数量が２７３ｔ（前年２８５ｔ）で前年比４％減となりましたが、平均単価７３９円（前年７４１円）は前年並みとなりました。

⑸　全農京都茶市場における令和４年産の一番茶及び二番茶以降の取扱実績は、取引数量は１，６４２ｔ（前年度1，552ｔ）となり、前年に比べて６％増となりました。

　また、取扱い金額では、３５．９億円（同３０．０億円）となり、前年に比べて２０％増となりました。

⑹　令和４年度府内産茶の生産・販売状況は、茶園面積は１，５２５ｈａ（前年度１，５４７ｈａ）となり前年比９９％でした。しかし、荒茶総生産量は、２，３９４ｔ（前年度２，２９２ｔ）で前年度に比べて１０５％増となり、生産金額も６７．８億円（前年度５９．２億円）で前年度に比べて１５％増となっています。

〔京都府産茶の生産・流通状況等に関する資料（旧京都府茶業統計）〕

２　全国の生産・流通状況

ア　令和４年の全国レベルの荒茶生産量は、主産県計６９，９００ｔ(前年７０，７００ｔ)で、前年産に比べて８００ｔ(１％)減少しました。

　主産府県の内訳は、静岡県２８，６００ｔ（前年産比４％減)、鹿児島県２６，７００ｔ(同１％増)、三重県５，２５０ｔ(同２％減)、宮崎県３，０００ｔ(同２％減)、京都府２，６００ｔ(同６％増)、福岡県１，７５０ｔ(同６％増)の順となっています。

〔農林水産省大臣官房統計部調べ〕

イ　一般家庭での緑茶（リーフ）消費は、年間購入量７０１ｇ（前年実績７５９ｇ、前年比８％減)、消費支出金額３，２６３円（同３，５３０円、前年比８％減)と前年に比べて減少し、ピーク時の消費量(平成１０年の１，２８４ｇ)に比べると、大幅に減少（平成１０年比５８３ｇ減、４５％減）しています。　〔総務省家計調査〕

　一方、令和４年の緑茶ドリンクの生産量は、２９５万ｋℓ（前年実績２９１万ｋℓ、前年比４万ｋℓ、１％増）となり、昨年は減少したものの本年は増加傾向となりました。

〔日刊経済通信社調査〕

ウ　日本緑茶の令和４年の輸出量については、６，２６６ｔ(前年６，１７９ｔ)となり、前年比８７ｔ、１．４％微増でしたが、輸出の好調さがうかがえます。

　また、令和４年輸入量は３，０８８ｔとなり、前年(３，１９４ｔ)に比べて、１０６ｔ、３％減少しています。　〔財務省貿易統計〕

A　実施した３つの重点課題と事業種目

①高品質で、安心・安全な宇治茶づくりとブランド産地の育成　②宇治茶の歴史、伝統文化の継承、保存　③宇治茶の普及啓発事業の強化を３つの重点課題とし、これらを達成するため、次のとおり事業展開を図ってきています。

事業名	事業区分（事業目的）
Ⅰ　宇治茶文化保存事業	１　宇治茶文化の理解促進事業 （日本緑茶を楽しみ、味わう本来の喫茶習慣の普及と宇治茶文化に対する理解促進を図る）
	２　宇治茶保存事業 （宇治茶の歴史・文化の継承と理解促進を図る）
Ⅱ　宇治茶振興事業	１　宇治茶生産と品質維持・向上対策事業 （安心・安全で信頼性の高い宇治茶の生産安定を図る）
	２　宇治茶の普及啓発事業 （多彩な宇治茶づくしのイベントを開催し、宇治茶の普及啓発を図る）
	３　宇治茶振興を目的とした宇治茶会館等の貸与 （宇治茶の振興を目的とするイベントや催しを実施する場として宇治茶会館・京都府茶業会館の貸し出し）
Ⅲ　宇治茶振興に対する助成事業 (他団体で実施することにより、宇治茶と宇治茶文化の普及発展が見込まれる事業)	１　公募方式により事業助成する事業
	２　選考の上、助成する事業

B　事業の実績

【Ⅰ　宇治茶文化保存事業】

１　宇治茶文化の理解促進事業

（１）宇治茶ふれあい教室の開催

京都府内の小学校、支援学校、福祉施設等を対象に、授業の一環として、「宇治茶ふれあい教室」を実施し、宇治茶による「食育」を推進しました。

授業内容は次のとおり。⇒　①茶香服(お茶の種類当てゲーム)、②お茶の飲み比べ、③お茶の淹れ方(玉露・抹茶）、④ビデオ鑑賞、⑤宇治茶の種類・効能について、⑥仕上げ加工の実演、⑦石臼体験、⑧茶摘みの体験、⑨ホットプレート製茶等。

【開催実績:１４件、参加人数９８４名】

（２）「宇治茶大好き！キッズ茶ムリエ検定」等の開催

ア　「宇治茶大好き！キッズ茶ムリエ検定」の開催

京都府山城広域振興局との共催により、次代を担う子供たちに宇治茶に対する理解を深めることを目的に、小学生(３～６年生)を対象に、「宇治茶大好き検定」、「お茶の飲み分け検定」等を実施しました。

【開催実績：

○日時・場所…

８月２８日(日)　お茶と宇治のまち交流館 茶づな

１１月６日(日)　　〃

○実施回数・参加者数等…

実施回数４回、参加者８２名（定員１２０名(各回３０名)、応募者１４３名)】

イ「オンライン宇治茶ムリエ講座」の開催

京都府山城広域振興局との共催により、個人や団体向けに「オンライン宇治茶ムリエ講座」を実施し、日本茶インストラクターによる宇治茶のおいしい淹れ方や宇治茶の歴史等の講座をおうちでゆっくり学んでいただきました。

【開催実績：

○府民向け…実施回数２０回、参加者２６４名（定員４００名、応募者２９２名）

○団体・企業等向け…実施回数１０回、参加者１７６名、応募者２０１名】

（３）宇治茶の淹れ方体験学習の場〔宇治茶道場「匠の館」〕での普及・啓発活動

ア　令和４年度は、新型コロナウイルスの影響で減少していた観光客の数が回復してきて、団体客の利用の増加と、外国人観光客の数も戻ってきました。

令和４年度の入込状況は、喫茶部門３，６６０名（前年度１，４１５名)、淹れ方教室１３３名（同３３名)、茶香服７５名（同５０名)、抹茶アート１３３名（同２５名）となりました。

イ　「匠の館」では喫茶メニューとして「宇治玉露」、「宇治抹茶」、「宇治煎茶」を提供していますが、自宅用やお土産としていただくために、来客者に対して少量の茶販売を令和２年７月から開始し、好評を得ているところです。

（４）国内外での宇治茶の情報発信

ア　京都府知事から委嘱された「宇治茶伝道師」の皆様と協調して茶業会議所では京都府民や京都を訪れる国内外からの観光客等に対して、宇治茶の歴史・文化や美味しい宇治茶の淹れ方など、情報発信に努める活動を展開していますが、令和４年度は新たに２名の方が宇治茶伝道師に加わりました。

宇治茶伝道師名簿（１１名）〔順不同、敬称略〕　（令和４年１１月２９日委嘱）

堀井長太郎（会頭 / 茶商工業者）、吉田利一（副会頭 / 生産者）、
中田義孝（理事 / 生産者）、下岡久五郎（宇治茶道場「匠の館」館長 / 生産者）、
仲井敏雄（理事 / 茶商工業者）、藤井孝夫（理事 / 大学教授）、
小嶋秀子（日本茶インストラクター）、村田範子（日本茶インストラクター）、
小山茂樹（茶商工業者）、川邊佳秀（京都府茶業連合青年団員）、
大西美佳（日本茶インストラクター）

（５）宇治茶の食育教材「宇治茶大好き」、「みんなでお茶しようね」の無料配布

小中学校等低年齢層や一般の消費者に対して、宇治茶の美味しさ、効能等に関する理解を促進するため、申請に応じて、宇治茶の食育教材「宇治茶大好き（日本語版・英語版・中国語版）」、童話絵本「みんなでお茶しようね」を無料配布するなど、茶育を推進しました。　【配布実績：１４５件、１４，７８０部】

２　宇治茶保存事業

（１）第１９回宇治茶製法手もみ技術競技大会の開催

令和５年３月２日(木)に宇治茶会館において第１９回宇治茶製法手もみ技術競技大会を開催し、京都府宇治茶製法手もみ技術保存会連絡会議会員４団体１０チームが参加しました。審査員には、京都府茶業研究所長等の３名が当たり、厳正な審査の結果、京田辺茶手もみ技術保存会が優勝杯（会議所会頭杯）を獲得されました。

（２）全国手もみ茶振興会主催行事への参加

ア　第３０回全国手もみ茶品評会への出品

１６都府県から１０１点の出品があり、京都府からも２つの地域保存会（京田辺、宇治田原）から６点の出品を行いました。

イ　第２６回全国手もみ製茶技術競技大会への参加

令和４年１１月１０日(木)に静岡県藤枝市のいきいき交流センターで開催された第２６回全国手もみ製茶技術競技大会には、全国１５都府県から２６チームが出場するなか、京都府からは宇治茶製法技術保存協会、京田辺茶手もみ技術保存会、和束茶手揉技術保存会から４チーム１２名が出場し、和束茶手揉技術保存会が６位になるなど積極的な取り組みが行われたところです。

（３）宇治茶の世界文化遺産登録を目指す取組みについて

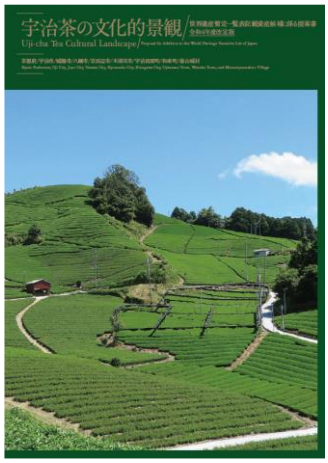
ア　文化庁に対する提案書（令和４年度改定）

■ 提案コンセプト

① 資産名称　宇治茶の文化的景観

Uji-cha Tea Cultural Landscape

② 本資産の顕著な普遍的価値（OUV）



（ア）「抹茶」、「煎茶」、「玉露」に代表される日本の緑茶は、中国では途絶したとみられる「蒸し製法」と粉末茶に湯を注いで飲む喫茶法及び茶を湯に浸してエキスを飲む喫茶法が、京都府南部の山城地域で生まれた「覆下栽培」と「宇治製法」という生産技術によって日本独自の緑茶へと進化したものである。宇治茶の文化的景観は、日本の緑茶という固有の文化的伝統の起源であり、その伝統的な生産のあり方が現在に継承されている。

（イ）宇治茶の生産は、山城地域の自然環境条件を活かしつつ、日本独自の生産技術及び流通・消費条件によって、茶園、茶工場、茶問屋等からなる独特の土地利用と景観を形成している。その土地利用と景観は、生産に関わる技術革新と合理化により、有機的に進化を遂げつつ現在に継承されており、日本の緑茶生産に関わる土地利用と景観を代表する例である。

（ウ）宇治茶は日本人の日常生活の喫茶文化として根付くとともに、「茶の湯」「煎茶道」という社会の特徴は、文化的、思想的に強い影響力を持つ固有の喫茶文化の形成に寄与してきた。

以上のように「宇治茶の文化的景観」は、日本の緑茶という固有の文化的伝統の起源とその生産方法の継承、その生産に関わる土地利用と景観の代表例、喫茶文化への寄与、の各点において顕著な普遍的価値を有する資産である。

■ 提案書の改定概要

本提案書は、平成２６年３月に作成したものを、宇治茶文化的景観等調査研究会議による調査結果を反映し、金田章裕京都大学名誉教授を座長とした有識者会議の意見を踏まえて改定を行い、文化庁へ提案しているものです。今回は平成２９年度以来の４回目の改定となり、文章、構成、レイアウトを全面的に見直し、変更しました。

＜主な改定内容＞

第１章　本資産の概要

以下の視点を新たに強調し、記述されました。

・宇治茶の生産面だけでなく流通面にも日本茶を代表する特徴があり、生産から流通に至るまでの景観を一体的に「宇治茶の文化的景観」として捉える。
・小規模小ロットによる茶生産と荒茶の多様性が宇治茶の安定した品質を支えており、茶園景観の多様性にその特徴がよく表れている。
・生産者と茶問屋の「相対」による直接取引に見られる密接な関係性が宇治茶の品質を支えている。
・宇治茶は支配者層から一般庶民に至るまで、日本固有の緑茶による喫茶文化の形成に大きく寄与した。

第２章　本資産の歴史と発展

以下の視点を新たに強調し、記述されました。

・製茶技術の機械化は手揉みである「宇治製法」を精巧に機械へ移行したものであり、機械化により「宇治製法」が全国へ普及した。

第３章　文化的景観の構造と構成資産

・構成地域ごとに、「地理」「歴史」「景観」の各視点から詳細な記述を加え、各構成地域の本資産における価値、位置づけをより明確にした。

第４章　本資産の現状と保存活用

・近年の保存活用の取組み（「お茶の京都」、各市町村）に基づき、資産の保存活用に関する記述を充実させるとともに、周辺環境の保全など本資産が抱える課題を明確にした。

第５章　世界遺産への妥当性

・「世界遺産条約履行のための作業指針（２０１３年)」に基づき、実際の世界遺産推薦書に沿った項目で、本資産の「OUV（顕著な普遍的価値)」「真実性（オーセンティシティ）・完全性（インテグリティ)」を記述。

・近年の調査研究や、宇治茶が日本茶の代表として参画したイコモス主催のテーマ別研究「The Landscapes of Asia」の成果（２０２１年発表）に基づき、国内・国外の類似資産と比較し、本資産の唯一性を強調。

■「宇治茶の文化的景観」意見交換会

日本イコモス世界遺産有識者、文化庁、宇治茶文化世界遺産登録有識者会議委員、宇治茶文化的景観等調査研究会議委員、京都府に加え当会議所も参加しました。

◇「宇治茶の文化的景観」地域フォーラム

令和４年１２月１０日(土)、京都府立京都学・歴彩館、参加者２５３名

講演、世界文化遺産登録に向けた宇治茶のファンづくりの取組み報告

◇現地調査

令和４年１２月１１日(日)

構成資産候補の視察（和束町の茶園、宇治市の中宇治エリアの茶工場）

◇意見交換会

令和４年１２月１１日(日)、宇治茶会館、４３名

テーマ１：宇治茶の OUV（顕著な普遍的価値）について

テーマ２：宇治茶の真実性（オーセンティシティ）の課題について

テーマ３：構成資産の範囲の考え方について

イ　「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の取り組みについて

「宇治茶の文化的景観」の暫定リスト入りを目指して、「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の一員として、次のとおり情報発信や府民の理解醸成に努めました。

◇ 茶育事業「山城のたから授業」の実施

山城地域の小学校１５校において、小学３～６年生を対象に実施。

◇ 宇治茶ファンミーティング「宇治茶ＬＯＶＥ茶会２０２２」の開催
令和５年１月２１日(土)、参加者１９名、定員２５名

（参考）宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォームの概要
平成２５年度に文化庁に対する提案書づくりに合わせて、宇治茶の世界文化遺産登録を目指す戦略づくりを目的とし、茶業関係者、大学研究者等の多彩なメンバーが一体となった地元推進組織として設置。
代表：森京都文教大学学長、事務局：京都府、茶業会議所

ウ　神社仏閣での献茶祭について
宇治茶の歴史、文化を今に伝える文化的な儀式である神社仏閣が行う献茶祭は、一般市民、観光客が実際に宇治茶を味わい、宇治茶の伝統文化に触れ、宇治茶文化に対する国民の理解促進になることから積極的に支援し、その継承に努めました。
○ 令和４年　５月　４日(水)　平安神宮献茶
○ 令和４年１１月　８日(火)　高山寺献茶式
○ 令和４年１０月２４日(月)　春日大社献茶
○ 令和４年１１月２６日(土)　北野天満宮御茶壺奉献奉告祭

（４）高山寺茶園（日本最古の茶園）の管理
宇治茶発祥の地「高山寺茶園」について、当茶業会議所、宇治市茶生産組合を中心に、京都府、宇治市、ＪＡ京都やましろ、宇治茶愛好家等の指導、協力を得て、令和４年度は４回（７月２１日(木)、９月１５日(木)、１０月２７日(木)、令和５年３月２２日(水)）の管理を実施しました。

（５）宇治茶関連資料の収集・整理
京都府茶業会議所の前身である京都府茶業組合取締所が明治１７年に設立され、爾来１３０年余りが経過する中で、その膨大な会議所の資料や宇治茶に係る古い記憶等の収集・整理に取り組み、一定、会議所の資料を整理し、順次適宜、整理等を進めたところです。

（６）宇治茶会館における宇治茶文化財の常設展示
宇治茶会館３階展示ホールにおいて、宇治茶関連文化財の常設展示を実施しました。
主な展示物：宇治茶まつり献茶道具（窯、茶碗等）、宇治の製茶図（レプリカ）

【Ⅱ　宇治茶振興事業】
１　宇治茶生産と品質維持・向上対策事業
（１）消費者が安心して飲める安心・安全な宇治茶づくり対策
宇治茶ＧＡＰ〔農業生産工程管理手法〕の推進
（ア）宇治茶ＧＡＰ推進協議会（平成２７年１月設立）を推進母体として、行政、関係団

体等が一体となった「宇治茶ＧＡＰ」の支援・推進の取り組みが進められました。

（イ）茶業会議所では、推進協議会の一員として、府内の茶産地全体が揃って宇治茶ＧＡＰ実践に取組めるよう支援するとともに、一定レベルをクリアした宇治茶ＧＡＰ実践者（製茶工場）からの申請に基づき、令和４年には上級４工場、初級６工場の承認を行ったところです。

なお、社会的問題となっているＳＮＳの不適切使用による風評被害対策については、点検項目において法律に基づいた内容を追加しました。

【宇治茶ＧＡＰ点検シート　茶園管理編】

５　安定的な経営のために（p１５）

レベル	点検項目	取組み事項
必須	従業員との労働上の基本的な事項に関する誓約書の取り交わし	従業員に対して、労働上の基本的な事項に関する誓約書の取り交わし、ルールを守ってもらっている。

（参考）宇治茶GAPの概要

１　対 象 者 ：府内の茶生産者・製茶工場

２　実践内容：点検シートによる自己点検の実施、改善指導。実践誓約書の提出、実践確認証の交付。

３　指 導 者 ：産地ＪＡ担当者、普及指導員、先進的農家

４　宇治茶GAPの承認制度

◇対象者：一定の基準を満たした宇治茶ＧＡＰの実践者（製茶工場）

◇レベル：初級、上級の２級制。次の基準を満たす者・工場を承認。

レベル	承認基準	点検事項
初級	点検シートの必須項目 100%	・１次点検、２次点検とも書類確認
上級	同必須項目 100%＋重要項目 70%	・１次点検⇒書類確認＋現地確認 ・２次点検⇒書類確認

５　宇治茶GAP推進協議会

京都府、京都府農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会京都府本部、京都やましろ農業協同組合等府内の産地ＪＡ、(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合で構成。（会長：吉田京都府茶生産協議会長）

イ　令和４年度の府内産荒茶農薬残留分析結果について

全農京都府本部茶市場に出品された府内産荒茶のうち、一番茶、二番茶の３茶種（煎茶、玉露、てん茶）の合計１７検体について、本府において通常使用されている茶農薬を中心に、一斉分析検査（１１７項目）を実施したところ、すべての検査について、食品衛生法による残留農薬基準を上回るものは見られませんでした。

なお、結果概要については、当会議所ホームページに掲載しています。

ウ　「茶樹病害虫防除指針」に基づく清浄茶生産の推進

安心・安全な府内産荒茶を生産するため、京都府茶生産協議会と連携・協力して、「茶樹病害虫防除指針」に基づき、農薬の安全使用と農薬散布作業でのドリフト防止に万全を期すよう指導の徹底を図っています。

こうした安心・安全な宇治茶生産の取りみが高く評価され、府内産茶のブランド力向上に寄与しているものと考えられます。

（２）京都府内地域別茶園品評会、茶品評会の奨励

京都府内の市町村、ＪＡが開催する地域別の茶園品評会、茶品評会に対して、事前に開催される栽培、製茶技術向上研修会の開催を支援し、茶生産農家の技術向上を図るとともに、審査会に審査員を派遣しました。

また、品評会を後援するとともに、成績優秀者に対して会頭賞を贈り、府内における良質茶の生産奨励に努めました。

【令和４年度実績：後援数４件、会頭賞交付数２６点】

（３）２０２２年度京都府優良品種茶園品評会の開催結果

府内地区審査１０２点から選抜された４１点の出品があり、１１月に４日間の審査が行われました。幼木茶園の部、成木茶園・手摘みの部、成木茶園・機械摘みの部の３部門から、特に優秀な茶園が農林水産大臣賞を受賞しました。

・〔農林水産大臣賞〕　成木茶園・手摘みの部　阪田峻也（久御山町）

（４）第４０回京都府茶品評会の開催結果

３４２点の出品となり７月５日(火)、６日(水)に宇治茶会館において審査が行われました。

ア　出品点数

茶種	煎　茶	かぶせ茶	玉　露	てん茶	合　計
点数	３１	５３	９０	１６８	３４２

イ　入賞点数

区　分	煎　茶	かぶせ茶	玉　露	てん茶	合　計
１等	2	3	5	9	１９
２等	5	6	１０	２２	４３
３等	4	7	１８	４１	７０

ウ　一等一席受賞者

・煎　　茶の部〔近畿農政局長賞〕　木野怜子（南山城村）
・かぶせ茶の部〔農林水産大臣賞〕　福井ヒデ子（綾部市）
・玉　　露の部〔農林水産大臣賞〕　山下新貴（京田辺市）
・て ん 茶の部〔近畿農政局長賞〕　辻　喜代治（宇治市）

（５）第４４回宇治茶品評会の開催結果

３０９点の出品となり、審査は９月２８日(水)に宇治茶会館において実施されました。

また、褒賞授与式は１０月１９日(水)に宇治茶会館において行われ、一等一席受賞者に農林水産大臣賞が交付されたほか、成績優秀者に対して会頭賞を贈りました。

ア　出品点数

茶種	玉　露	煎　茶	てん茶	合　計
点数	１０３	１０５	１０１	３０９

イ　農林水産大臣賞受賞者

・玉　露の部　　共栄製茶株式会社

・煎　茶の部　　共栄製茶株式会社

・てん茶の部　　(株)丸久小山園

（６）第７６回全国お茶まつり京都大会及び第７６回全国茶品評会の開催結果

第７６回全国茶品評会は、９年ぶりに京都府での開催となり、城陽市の JA 全農京都 宇治茶流通センターにおいて開催され、京都府からは、煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の４茶種による総数２２９点(前年度１３９点)の良質茶が出品され、７１点が入賞しました。

また、かぶせ茶、玉露及びてん茶の部で農林水産大臣賞を受賞し、産地賞についても、宇治市（てん茶）と綾部市（かぶせ茶）が１位（優勝旗）を獲得されたほかに６市が入賞するなど、見事な成績を収めることができました。

なお、出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞等は、次のとおりです。

ア　主催　　全国茶生産団体連合会、第７６回全国お茶まつり京都大会実行委員会

イ　全国及び京都府茶種別出品点数並びに入賞点数

		普通煎茶		深むし煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	蒸し製玉緑茶	釜入り茶	合計
		10k	4k							
出品	総　数	101	102	97	100	119	142	105	99	865
	京都府	－	26	－	43	58	102	－	－	229
入賞	総　数	30	31	30	30	36	42	32	30	261
	京都府	－	7	－	21	5	38	－	－	71

ウ　審査会及び京都府選出審査員

・期　日/令和４年８月２３日(火)～２６日(金)

・場　所/宇治茶会館（宇治市）

・審査員/２０名

審査長　国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
果樹茶業研究部門　茶業研究領域長　　根角厚司

京都府選出審査員　京都府茶業研究所　　所長　　神田真帆
京都府茶生産協議会　　参与　　加藤英幸

エ　入賞点数（１～３等、京都府関係分）

	普通煎茶(4kg)				かぶせ茶				玉　露			
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計
総　数	6	10	15	31	5	10	15	30	6	12	18	36
京都府	0	2	5	7	5	7	9	21	2	0	3	5

	てん茶				合　計				入賞率（本府関係分４茶種）
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	
総　数	7	14	21	42	24	46	69	139	３０％（入賞数 / 出品数）
京都府	7	14	17	38	14	23	34	71	５１％（京都府入賞数 / 入賞数）

オ　農林水産大臣賞受賞者（一等一席受賞者）

・かぶせ茶　　大槻由美子（福知山市）
・玉　　露　　山下新貴（京田辺市）
・て ん 茶　　辻　喜代治（宇治市）

カ　産地賞（１～３位、１位優勝旗）

・かぶせ茶　　綾部市（１位）、舞鶴市（２位）、福知山市（３位）
・玉　　露　　京田辺市（２位）
・て ん 茶　　宇治市（１位）、城陽市（２位）、京田辺市（３位）

キ　第７６回全国お茶まつり京都大会 実施諸行事

・入札販売会
　期日/令和４年９月１３日(火)　場所/ＪＡ全農京都 宇治茶流通センター（城陽市）
・褒賞授与式、出品茶展示など
　期日/令和４年１１月１９日(土)　場所/宇治市文化センター（宇治市）
・宇治茶の魅力発信イベント
　期日/令和４年１１月１９日(土)～２０日(日)
　場所/お茶と宇治のまち歴史公園／茶づな、府立宇治公園（宇治市）
・第３９回全国茶生産青年茶審査技術競技大会
　中止

（７）第７４回関西茶業振興大会滋賀県大会及び第７４回関西茶品評会の開催結果

第７４回関西茶品評会は、８年ぶりに滋賀県において開催されました。

総出品点数３８４点のうち、京都府からは普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶による総数１１３点（令和４年度１４０点）の良質茶が出品され、５０点が入賞しました。

普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶ともに上位入賞を果たすとともに、玉露とてん茶で産地賞（１位）を獲得することができ、一層、宇治茶銘柄を高揚することができました。

出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞者は、次のとおりです。

ア　主催　　滋賀県ほか５府県、関西茶業協議会　他

イ　出品点数

茶種	普通煎茶	深蒸煎茶	かぶせ茶	玉　露	てん茶	合計
総　数	１４６	６１	４８	３２	９７	３８４
京都府	５	－	１０	３２	６６	１１３

ウ　審査会及び京都府選出審査員

・期　日/令和４年８月３日(水)～５日(金)

・場　所/甲賀農業協同組合本所（甲賀市）

・審査員/２２名

審査長　国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
果樹茶業研究部門　茶業研究領域長　　根角厚司

京都府選出審査員　京都府茶業研究所　　所長　　神田真帆
〃　　主任研究員　　堤　保三
京都府茶生産協議会　　参与　　加藤英幸

エ　入賞点数（１～３等、京都府関係分）

	普通煎茶				かぶせ茶				玉　露			
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計
総　数	8	15	22	45	3	5	8	16	2	4	5	11
京都府	1	1	0	2	1	3	3	7	2	4	5	11

	てん茶				合　計				入賞率（本府関係分４茶種）
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	
総　数	5	10	15	30	18	34	50	112	３５％（入賞数 / 出品数）
京都府	5	10	15	30	9	18	23	50	４５％（京都府入賞数 / 入賞数）

オ　農林水産大臣賞受賞者（一等一席受賞者）

・玉　　露　　米田五司（京田辺市）

・て ん 茶　　辻　喜代治（宇治市）

カ　産地賞（１～３位、１位優勝旗）

・かぶせ茶　　綾部市（２位）

・玉　　露　　京田辺市（１位）、宇治市（２位）、宇治田原町（３位）

・て ん 茶　　宇治市（１位）、久御山町（２位）

キ　第７４回関西茶業振興大会滋賀県大会 実施諸行事

・出品茶入札販売会

期日/令和４年９月６日(火)　場所/大津市民会館（大津市）

・褒賞授与式、出品茶展示など

期日/令和４年１１月５日(土)　場所/あいこうか市民ホール（甲賀市）

・茶消費促進関連イベント

期日/令和４年９月１７日(土)～１８日(日)　場所/東京交通会館（東京都）

第７６回全国お茶まつり京都大会

第７４回関西茶業振興大会滋賀県大会

（８）出品奨励金及び特別報奨金の交付

第７６回全国茶品評会、第７４回関西茶品評会、第３０回全国手もみ茶品評会への出品者を対象に出品奨励金並びに農林水産大臣賞受賞者及び１等賞受賞者へ特別報奨金を交付しました。

なお、令和４年度は、全国茶品評会が京都府開催であったため、全国茶品評会、関西茶品評会出品者には、１点当たり２０，０００円を出品奨励金として交付しました。

また、全国手もみ茶品評会出品者には、１点当たり１０，０００円の出品奨励金を交付したところです。

【総額　７，７３０，０００円】

区　　分	出品奨励金		特別報奨金 一等賞受賞		特別報奨金 農林水産大臣賞受賞	
	点数	金額(円)	点数	金額(円)	点数	金額(円)
全国茶品評会	２２９点	4,580,000	かぶせ茶　４点 玉　　露　１点 てん茶　６点	330,000	かぶせ茶　１点 玉　　露　１点 てん茶　１点	300,000
関西茶品評会	１１１点	2,220,000	普通煎茶　１点 かぶせ茶　１点 玉　　露　１点 てん茶　４点	140,000	玉　　露　１点 てん茶　１点	100,000
全国手もみ茶品評会	６点	60,000				
合　　計	３４６点	6,860,000	１８点	470,000	５点	400,000

（９）「プレミアム宇治茶認証制度」の取組

「プレミアム宇治茶認証制度」については、高品質茶のブランド価値を高めるため、京都府や関係団体と協力・連携して平成３０年度に創設したところです。

本年度は、「プレミアム手摘み玉露」、「プレミアム玉露」、「プレミアム煎茶」合わせて

計６５点（計２２業者）を認証するとともに、広報用パンフレットにより認証茶取扱店等を通じて制度のＰＲし、さらには、イベントでプレミアム宇治茶を使用してもらう取組みも合わせて行いました。

○ 品質審査会　令和４年１１月　２日(水)

○ 認証委員会　令和４年１１月１０日(木)

○ 認証数等　・プレミアム手摘み玉露　２６点（１８業者）
　　・プレミアム玉露　１２点（１０業者）
　　・プレミアム煎茶　２７点（１７業者）

○「認証茶」貼付用、シンボルマーク（実寸）

（10）「宇治茶ブランド拡大協議会」における産官連携研究活動の強化

宇治茶の高い品質維持を図るため、ＮＰＯ法人京都･地球みらい機構と連携しながら、茶業団体、行政機関等で構成する「宇治茶ブランド拡大協議会(会長：森下康弘副会頭)」を設立し、「気候変動が宇治茶に与える影響」に関する実証試験等を実施するため、茶園における気象データの蓄積を図っています。

気象観測装置は、現在設置されている１４台のうち、初期の設置機器は１０年を経過した装置もあり、観測装置が必要のない「茶生育等予測マッピングシステム」(令和元年９月より京都府茶業研究所の事業でスタート）への移行を含めたトータル的な活用を検証しています。

また、もう一つの活動の「宇治茶にまつわる古い記憶を再現プロジェクト」では、京都府茶協同組合並びに当会議所が所蔵しているアナログデータをデジタル化しデータベース化することで、情報収集に取り組みました。

（11）輸出向け荒茶生産体制の整備

ア　海外での日本緑茶の優れた機能性に対する期待や和食の無形文化遺産登録等を背景に輸出は、令和４年の輸出額は２１９億円と過去最高を更新するなど、今後も一層の需要拡大が見込まれていますが、輸出先国（ＥＵ、米国、台湾等）の残留農薬基準をクリアできる生産体制を構築する必要があります。

イ　このため、「日本茶輸出促進協議会(平成２６年１２月設立、全国茶業団体、京都、静岡、鹿児島の茶業会議所で構成。会長：上川陽子(公社)日本茶業中央会会長)」の事業として、輸出向け茶の生産拡大を図るため、２７年度から現地実証圃の設置や検討会を開催し、輸出先国の農薬基準をクリアする農薬使用体系の構築を進める中、残留農薬の検証の取組みを進めています。

令和４年度は新規の実証圃を追加し、計１０圃場で農薬防除体系の構築検証等に取り組み、一定の成果を得たところです。

○ 現地実証圃場の設置

宇治田原町：３か所、和束町：２か所、南山城村：５か所

○ 現地実証圃での生産荒茶の農薬残留分析等

２　宇治茶の普及啓発事業

（１）「お茶の京都」づくりに対する協力

「お茶の京都博」の成果を引き継ぐため、「お茶の京都 Premium Green Fes.」を冠して山城各地で種々のイベントが取り組まれているところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くのイベントが中止、規模縮小等となりました。

当会議所の下記記載の『宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い』、『「宇治茶」まつりふれあいイベント』も「お茶の京都 Premium Green Fes.」の一環として位置付けて取組みました。また、『全国お茶まつり京都大会宇治茶の魅力発信イベント』でも連携して、宇治茶の素晴らしさの普及に取組みました。

（２）「宇治茶カフェ」の利用拡大と新規店舗の認定促進

消費者の皆さんが淹れたての宇治茶を手軽に楽しむことができるよう、宇治茶の郷づくり協議会とタイアップして宇治茶カフェの利用拡大と新規店舗の認定に取組み１店舗が新たに宇治茶カフェに加わりました。

しかしながら、コロナ禍においてメニューの簡素化や人材不足により、認定店は減少しました。認定店４１店舗（昨年度４６店舗）。

（３）「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」の開催

宇治新茶の始まりを告げる、恒例の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は、令和４年５月２日(月)に開催し、茶業センター茶園での「茶摘み体験」をはじめ、美味しいお茶の淹れ方教室、宇治茶の手もみ実演等、来場者にその魅力を満喫していただきました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、３密を避けるため有料による定員制（応募の上、抽選）で開催しました。

【来場者数：参加者３２５名（定員４００名、応募５６９名)】

（４）『「宇治茶」まつりふれあいイベント』の開催

昨年度より『「宇治茶」まつり消費イベント』は、『「宇治茶」まつりふれあいイベント』と名称変更し、今年は１０月３日(日)にお茶と宇治のまち交流館「茶づな」等で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から昨年に引き続きオンラインでの取組みとなりました。

取組み内容は、宇治茶まつりの神事の動画３本をインバウンド向け英語字幕バージョン動画にし、「若手プレミアム茶会２０２２@ZOOM」では、府内４地区の青年団がそれ

ぞれのお茶と発信内容を工夫して取組みました。さらには、宇治茶にゆかりのある人をつなぐ動画である「宇治茶数珠つなぎ」は、ショートバージョンの動画を作成し、昨年からの動画も合わせ再生回数を伸ばす方向で進めました。

（５）第７６回全国お茶まつり宇治茶の魅力発信イベントの開催

令和４年１１月１９日(土)、２０日(日)開催の第７６回全国お茶まつり京都大会「宇治茶の魅力発信イベント」では、メイン会場をお茶と宇治のまち歴史公園 茶づな、サブ会場を府立宇治公園（塔の島、橘島）として開催し、２万名（２会場合計、両日１万名）の来場がありました。

（主なイベント概要）

①地元観光大使の活躍

・宇治市観光大使「鎧塚俊彦」氏限定宇治抹茶スイーツ販売（１９、２０日）

・宇治市観光大使「こうじょう雅之」氏武人画ライブアート(１９日)

②主な宇治茶の関連イベント

・府内の全国茶品評会農林水産大臣賞受賞者がトークショーと自ら呈茶を実施（２０日）

・出品茶淹れ方体験（１９、２０日）

・宇治茶クイズ（１９、２０日）

・よしず編み体験（１９、２０日）

・伝承の踊り「茶音頭」（１９日）

・鳥獣人物戯画宇治茶ティーバッグ茶香服（１９、２０日）

・宇治茶体験ウォーク（１９、２０日）

・手揉み製茶実演（２０日）

③その他のイベント

・地元高校の吹奏楽部による演奏会（京都翔英高校１９日、菟道高校２０日）

・宇治市出身のアコースティックライブ（１９、２０日）

・お茶まつり大抽選会（１９、２０日）

・市町村ＰＲブース出展（１９、２０日）

（６）「宇治茶ブランド新展開プロジェクト」の推進

「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」（平成２９年１２月設立）において、今後の消費拡大にとって重要である宇治茶の外食（特に和食業界）における有料での提供、一般消費者、外食事業者に対して新たな宇治茶の飲み方をＰＲし、宇治茶の消費拡大に取組みました。その一つとして、令和２年９月から販売が開始された「京都宇治玉露 玉兎」の普及促進においては、サンプル提供のキャンペーンやプロモーショングッズの作成・配付、展示会への出展等でＰＲと販売促進に取組みました。

また、宇治茶を飲む人の視野を広げることを目的に宇治茶機能性講座を開催した。

（主な取組内容）

○「京都宇治玉露　玉兎」のプロモーション

■販売状況（令和４年４月～令和５年３月）

・販売本数　５７，１９２本（協議会買い上げ分含む）

■府内及び大都市圏への販売拡大プロモーション

・東京ラグジュアリーホテル向け試飲会の実施

（令和４年６月２８日(火)～３０日(木)、東京ミッドタウン日比谷）

・食品卸業者展示会（令和４年５月１８日(水)、ホテルモントレ京都）

■消費者向けプロモーション

・関西茶業振興大会滋賀県大会茶消費促進関連イベントへの出展

・イベント等へのサンプル提供（自民党「茶業振興議員連盟」、東京経済人会「東京で活躍する京都人の集い」、Art Collaboration Kyoto、京都和食の祭典）

・雑誌や広報誌等への掲載（電子雑誌「旅色」）

■プロモーショングッズの作成

栓抜きの作成２，０００個

■プロモーション戦略検討会議の開催

これまでの取組成果を整理し、今後の戦略を検討するために実施（２回開催）

参加者：㈱ジオード、㈱ミナト、京都府、京都府茶協同組合、茶業会議所

■海外展開に向けた市場調査（令和５年２月～３月）

北米、ＥＵ（フランス）の茶流通に関わる現地バイヤーに玉兎を送付し、試飲によるインタビューを実施。

○宇治茶機能性講座の開催

オンラインによる３部構成で開催（令和５年２月１１日(土)、１６０名参加）

第１部「新型コロナウイルスに対するお茶の効能について」

第２部「高品質抹茶の継続摂取による肌や血管に対する効果について」

第３部「宇治茶の美味しい淹れ方講座」

（参考）「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」の概要

構成団体：(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合、日本茶インストラクター協会京都府支部、京都府茶業連合青年団、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、お茶の京都ＤＭＯ、京都府

設立日：平成２９年１２月１日

会長：京都府農林水産部副部長　　事務局：京都府農林水産部農産課

（７）大型ショッピングモールでの消費イベントの開催

イオンモール久御山において、「夏の、ハレの日茶会」を、７月１６日(土)・１７日(日)に行いました。

コロナ禍のために試飲はできませんでしたが、「オリジナル急須デザインワークショップ」や「石臼体験＆宇治茶合わせ」など体験型コーナーを中心に宇治茶の普及を図りました。

また、Instagram でのキャンペーンや、ガラポン抽選会の賞品に最新の抽出機を展示するなど、新しい宇治茶ファンの獲得にも取組み、宇治茶の魅力を大きく発信することが出来ました。

（８）全国及び京都府内での市民、消費者対象イベントの開催・協賛

宇治新茶キャンペーン（ゴールデンウイークに平安神宮で開催）をはじめ、京都府南部総合地方卸売市場での「お花見市場一般公開」など対面での宇治茶ＰＲは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から軒並み中止となりました。

（９）「日本茶８００年の歴史散歩～京都・山城」の情報発信への協力・支援

八十八夜茶摘みの集い、全国お茶まつり魅力発信イベントにおいて「日本茶８００年の歴史散歩～京都・山城」（平成２７年４月に「日本遺産(Japan Heritage)」に認定）について、宇治茶の味や香りとともに紹介しました。

（参考）日本遺産(Japan Heritage)の概要

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって、総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより地域の活性化を図るものとして、平成２７年度に制度化されたもの。

(10) 宇治茶の知的財産保護への取組み推進

中国国内における宇治抹茶の模倣品や冒認商標の横行から、その対策として京都府茶協同組合と連携を取りながら、行政や日本貿易振興機構（ジェトロ）さらに自由民主党茶業振興議員連盟等の支援を受けて対策を進めてきたところです。

その結果、中国における「宇治茶」関連の冒認商標については、「宇治」を含む商標は中国特許庁で登録拒絶されるなど一定の成果が得られましたが、「宇治」を含む冒認出願商標はまだ多く、引き続き、京都府と京都茶協同組合とともに周知化を進めています。

さらに、国内外での抹茶ブームにおいては、てん茶の宇治茶産地ならではの生産方式を地域の知的財産として保護するため、会員団体及び関係団体と打合せ（５回）を重ね、「伝統宇治碾茶」の地理的表示（ＧＩ）保護制度への登録申請を行うなど、国内外における模倣品対策を行いました。

３　宇治茶振興を目的とした宇治茶会館及び京都府茶業会館の貸与

宇治茶会館及び京都府茶業会館は、茶業関係者はもとより広く消費者の皆さんに、宇治茶の振興や宇治茶文化の継承等に寄与するイベントや各種催しを実施する場として貸出を行っているところです。令和４年度も各種団体に合わせて宇治茶会館１２５回、京都府茶

業会館６５回のご利用をいただきました。

今後とも、宇治茶会館及び京都府茶業会館をより多くの方に知って貰い、一層宇治茶振興の場として活用いただけるよう努めることとしています。本年度の利用実績は、次のとおりです。

〈宇治茶会館利用実績〉

団体名	内　　容	回数	公益	収益	法人
本会議所(京都府茶協同組合、京都府農産課との共催関係含む)	総会、八十八夜茶摘みの集い、プレミアム宇治茶認証審査会　等	２５	○		○
京都府茶生産協議会	京都府茶品評会審査会等	７	○		
京都府茶協同組合	販売会、宇治茶品評会等	１０	○		
宇治茶の郷づくり協議会	運営委員会等	５	○		
第７６回全国お茶まつり京都大会実行委員会	実行委員会、審査会、イベント会議	２２	○		
京都府立木津高等学校	手もみ茶研修	１	○		
ＮＰＯ法人日本茶インストラクター協会	一次試験	１		○	
京都府茶業連合青年団	茶審査技術競技大会	１	○		
(一社)京都山城地域振興社	取締役会等	４		○	
日本茶インストラクター協会京都府支部	手もみ研修会、茶香服大会等	２	○		
宇治市茶生産組合	宇治市茶生産者大会等	３	○		
宇治田原町出品茶対策協議会	研修会	１	○		
その他	宇治茶振興に関する会議等	４３	○	○	
	合計	１２５			

〈京都府茶業会館利用実績〉

１　貸出等利用

団体名	内　　容	回数	公益	収益	法人
宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会	宇治茶機能性講座	１	○		
宇治観光ボランティアクラブ	観光ボランティア養成講座	１	○		
第７６回全国お茶まつり京都大会実行委員会	イベント	２	○		
「宇治茶」まつりふれあいイベント実行委員会	若手プレミアム茶会	４	○		
㈱京都春秋	お茶講座	１	○		
川合茶道教室	お茶会	１	○		
SHOGEN さんのお話し会 in 宇治	トークイベント	１		○	
	合計	１１			

２　喫茶等利用

団体名	内　　容	利用回数
(公社)宇治市観光協会	教室	１
ＪＴＢグローバルマーケティング＆トラベル	抹茶アート	１
大阪青凌高等学校	喫茶	１
枚方市立長尾中学校	喫茶	１
京都福祉専門学校	喫茶	２
香岳園製茶㈱	茶香服	１
京阪バス㈱	喫茶	２１
名鉄観光バス㈱	喫茶	４
その他団体(２０団体)	喫茶、茶香服、抹茶アート	２２
	合計	５４

【Ⅲ　宇治茶振興に対する助成事業】

１　令和４年度宇治茶振興助成事業（公募方式により事業助成する事業）の採択結果

（１）ホームページを通じた公募

令和４年度宇治茶振興助成事業公募要領をホームページに掲載し、京都府内に所在する個人、団体を対象に「宇治茶の普及・啓発による地域の活性化」または「宇治茶文化の保存・継承、理解促進」に該当する事業を公募しました。

期　間：令和４年３月７日(月)～３月２５日(金)

助成率：京都府内１市町村内又は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の２/３以内

助成率：京都府内２市町村以上は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の３/４以内

（２）応募状況と選考結果

１３団体から応募（申請総額６，８３３，０００円）があり、学識経験者等で構成する選考委員会（森正美委員長ほか学識経験理事４名で構成）において、答申案を策定しました。

① 選考期日：令和４年５月１６日(月)

② 出 席 者：選考委員

③ 選考結果：承認団体は１３、承認額は４，９９０，０００円。本年は申請額が予算額（５００万円）を上回ったことから、申請額が１０万円以下の団体を除き、申請額より交付決定額を削減することとなりました。

（３）令和４年度宇治茶振興助成事業実施実績等について

実施実績については、下記に記載のとおりです。

なお、助成団体は１１団体、交付確定額は計４，１７３，０００円となりました。

○　ＮＰＯ法人和束ティー・フレンズ

事 業 名　①　和束・茶会

②　木津川市学校教育機関での美味しいお茶の淹れ方教室

③　国内外の消費者を対象としたお茶教室

事業内容　新型コロナウイルスの影響から全事業取下げ。

交付額等　交付額 0 円※事業取下げ（決定額 346,000 円、申請額 412,000 円）

○　日本茶インストラクター協会京都府支部

事 業 名　宇治茶の普及活動

事業内容　①　研修会「お茶の合組(ブレンド)とは」

実施日：８月２１日(日)、場所：ＪＡ全農宇治茶流通センター、参加者：３９名

②　研修会「手揉み製茶研修会～京都方式の板ずりを学ぼう!」

実施日：１月１５日(日)、場所：宇治茶会館、参加者：３３名

③　茶香服大会

実施日：２月２５日(土)、場所：宇治茶会館、参加者：７３名

交付額等　交付額 246,000 円（決定額 382,000 円、申請額 562,000 円）

○　山城喫茶文化連盟

事 業 名　山城地域（相楽地域）喫茶交流茶会の開催

事業内容　実施日：３月１２日(日)、場所：南山城村やまなみホール、参加者：１２５名

交付額等　交付額 296,000 円（決定額 296,000 円、申請額 353,000 円）

○　京都文教大学

事 業 名　親子で楽しむ宇治茶の日２０２２

事業内容　①　宇治茶スタンプラリー（デジタルスタンプラリー）

実施日：１１月１９日(土)～１２月１８日(日)、場所：宇治橋周辺、

参加者：１，１１０名

②　ＳＮＳを使った情報発信で、煎茶の淹れる際のコツをまとめた動画をアップ。

③　宇治茶ワークショップの開催

［まちにわワークショップ(6/18､11/23)､京都文教大学オープンキャンパス(8/6－7)、宇治橋通りわんさかフェスタ(10/22)、ともいきフェスティバル(12/11)、うーちゃフェスタ(1/8)、美味しい宇治茶の淹れ方体験(3/19)］

交付額等　交付額 630,000 円（決定額 630,000 円、申請額 750,000 円）

○　YON Ｋｉｔｃｈｅｎ

事 業 名　親子で楽しむお茶の世界～宇治茶ｄｅスイーツ～

事業内容　宇治茶を使った調理体験ワークショップの開催

実施日：９月１８日(日)、場所：あべのハルカス、参加者：３０名

交付額等　交付額 59,000 円（決定額 85,000 円、申請額 120,000 円）

○ ＮＰＯ法人こみねっと

事 業 名　スクール茶ムリエマスター

事業内容　茶業者の支援による学習活動 等

・「伝統の宇治製法を知り手もみ茶を作るワークショップ」

実施日：７月２３日(土)、場所：宇治茶会館、参加者：１１名

・「合組を学びオリジナル茶を作る」

実施日：９月２５日(日)、場所：宇治茶会館、参加者：１５名

・「玉露の淹れ方を学ぶワークショップ」

実施日：１１月１２日(土)、場所：宇治茶会館、参加者：５名

交付額等　交付額 207,000 円（決定額 342,000 円、申請額 630,000 円）

○ ＮＰＯ法人五節句文化アカデミア

事 業 名　「五節句に宇治茶を！」事業

事業内容　シンポジウム「五節句に宇治茶を！～七夕に寄せて～」

開催日：８月９日(火)、場所：宇治市文化センター、参加者１２０名

交付額等　交付額 226,000 円（決定額 226,000 円、申請額 864,000 円）

○ 宇治市茶生産組合

事 業 名　宇治茶普及宣伝対策事業

事業内容　① 普及宣伝事業［宇治橋通りわんさかフェスタ(10/22)、第７６回全国お茶まつり京都大会(11/19.20)、うーちゃフェスタ(1/8)］

② 手摘み茶推進事業（茶摘み募集チラシの配架）

交付額等　交付額 506,000 円（決定額 585,000 円、申請額 697,000 円）

○ 山城茶業組合

事 業 名　日本遺産 上狛茶問屋街を中心とした宇治茶の宣伝事業

事業内容　①「やましろまつり」でのお茶の呈茶

実施日：１１月６日(日)、場所：アスピアやましろ、参加者：１０，０００名

②「山脊古道とことんウォーク」でのお茶の呈茶

実施日：１１月１２日(土)、場所：城陽市～木津川市間、参加者：７００名

交付額等　交付額 92,000 円（決定額 96,000 円、申請額 115,000 円）

○ 京都府茶業連合青年団

事 業 名　宇治茶喫茶宣伝事業

事業内容　宇治茶の無料接待や淹れ方教室、茶香服等の実施。事業数２０［第 71 回宇治茶まつり(10/2、50 名)、城陽市産業まつり(11/3、600 名)、京田辺市民まつり(11/5-6、500 名)、道の駅５周年イベント(4/10、500 名、京都府農林水産フェスティバル(11/26-27、100 名）］等、対象人数計３，０６７名。

交付額等　交付額 1,680,000 円（決定額 1,680,000 円、申請額 2,000,000 円）

○ 京都市茶業組合

事 業 名　京都市内における小学校茶香服活動

事業内容　新型コロナウイルスの影響から事業取下げ。

交付額等　交付額 0 円※事業取下げ（決定額 69,000 円、申請額 69,000 円）

○ 南山城村茶業振興対策協議会

事 業 名　南山城村茶業振興対策事業　南山城村茶業者大会「お茶の日」

事業内容　① 南山城村小学校児童全員（８０名）へ煎茶の贈呈。

② 小学校６年生対象のお茶の淹れ方教室の実施。（参加者：３０名）

交付額等　交付額 17,000 円（決定額 39,000 円、申請額 39,000 円）

○ ＪＡ京都やましろ宇治田原町茶業部会

事 業 名　児童・生徒の健康促進のための宇治茶普及活動

事業内容　・田原小学校、実施日：７月７日(木)、参加数：６年生３８名

・宇治田原小学校、実施日：７月１５日(金)、参加数：６年生３５名

・維孝館中学校、実施日：９月１６日(金)、参加数：３年生６６名

交付額等　交付額 214,000 円（決定額 214,000 円、申請額 222,000 円）

ＮＰＯ法人こみねっと	ＪＡ京都やましろ宇治田原町茶業部会

２　選考の上、助成する事業

（１）宇治茶の郷づくり協議会に対する助成

ア　助成対象団体：宇治茶の郷づくり協議会（会長　京都府茶業会議所堀井長太郎会頭）

イ　助　　成　　額：１００万円

ウ　助 成 理 由：当該団体は、幅広い行政、農業団体等により構成され、宇治茶を柱とした地域の振興や宇治茶文化の継承等を目的とした事業を実施していることから、公募方式をとらず助成金額等を決定した。

（２）京都府茶業研究所が実施する企業、大学等との共同研究に対する助成

ア　研究課題名：消費拡大に向けた特徴ある宇治茶の品質特性の解明

（研究期間：平成３０年～令和４年）

イ　共同研究機関等：京都府立大学

ウ　助成額：１００万円

エ　令和４年度試験研究項目：

機能性が豊富でうま味が多く苦味渋味を感じにくい飲みやすいてん茶の開発

オ　成果：

アミノ酸（うま味）とカテキン（渋味）の比率であるA/C比を指標として、A/C比が異なる抹茶３点（①０．７６、②０．６２、③０．５４）を用いて「苦味」、「また飲みたいか」について５段階で評価したところ、小学６年生ではA/C比が高い抹茶は苦みを感じにくく、好まれる傾向があったが、小学５年生では、このような傾向はなかった。

紫外域光量除去率が高く、被覆内温度が低い資材で被覆することにより、A/C比と品質が高くなる可能性があった。しかし、ポリアミンではこのような傾向はなかった。

【Ⅳ　(公社)京都府茶業会議所の組織強化】

1　理事会、専門委員会の定例的開催

「より開かれた京都府茶業会議所」を目指すには、広く意見を集め、活発な議論をしていくことが大切との認識から、令和４年度は２回の理事会及び専門委員会を開催し、重要・懸案課題の解決に当ったところです。

＜専門委員会開催実績＞

専門委員会名	開催回数	主な議題等
普及啓発	1	○ 普及啓発事業について ○ 次年度以降の普及啓発事業計画について ○ 宇治新茶八十八夜茶摘みの集いについて
選考	1	○ 令和３年度宇治茶振興助成事業 事業実績報告について ○ 令和４年度宇治茶振興助成事業について

2　茶業功績者に対する表彰

長年茶業振興に尽力された次の方々については、当会議所として会頭表彰した他、関西茶業協議会の茶業功労者表彰、(公社)日本茶業中央会の茶業功績者表彰をそれぞれ受賞されました。

（１）(公社)京都府茶業会議所 茶業功績者表彰

藤井　啓　様　　村上朔生　様　　桑原秀樹　様

（２）関西茶業協議会 茶業功労者表彰

辻　四一郎　様　　北村敏朗　様

（３）(公社)日本茶業中央会 茶業功績者表彰

山本晃一郎　様　　堀井長太郎　様